

第2学年1組 生活科学習指導案

指導者 久森 涼子



1 単元名 「みんな生きている」

2 指導観

- 本学級の児童は、これまでに蝉やトカゲを捕まえたり、花を取ってきたり家庭で飼っているカブトムシを持ってきたり自然への興味・関心が高い児童と虫が苦手手で触れない児童と二極化している。虫が好きな児童は、校庭にバッタが飛び交うようになると捕まえたい意欲が高まり、休み時間には、透明カップを持って、つかまえては逃がすことを遊びとしている姿がよく見られた。しかし、クラスの友だちが夏休みの自由研究で昆虫のことを調べ、実際にすみかを持ってきて、カマキリのすみかの中にショウリョウバッタがいた事に何の疑問ももっていなかった。すると、偶然休み時間にカマキリがショウリョウバッタを食べている姿に遭遇し愕然とした姿があった。なぜという疑問を持った児童がほとんどだった。また、長期の飼育の経験や知識は少なく、虫かごに昆虫を入れては、喜んで見ているだけで餌を与えず、死なせてしまった経験が多い。そこで、長期に渡る飼育を設定し、生き物のすみかや特徴などを調べ、工夫して飼育ができるようにしていきたい。活動を通して自分と生き物のかわりを深めていく中で、生き物を育てる楽しさや面白さを感じ取らせ、そのことを1年生に伝える活動を取り入れたい。このことは、動物に対する親しみの気持ちが生まれ、責任感が育ち、生命の尊さを感じる上でも意義深い。
- 本単元に関しては、校庭や近くの公園などの生き物に目を向けている児童は、1年生の生活科でも、この時期に生き物を育てる学習をしている。しかし、すみかのことやえさのことを調べて、長期の飼育をするまでには至っていない。2年生になり、長く飼育してみたいという興味・関心を生かして、「生き物探し」を行い、自分の好きな生き物を飼育することで、生き物の育つ場所や様子、特徴などに気付き生き物と、より深く関わっていくことができるようにしていきたい。このことは、3年生の理科における理科の見方・考え方、総合的な学習の時間における探求的な見方・考え方等の学習へ発展していく。
- 本単元の指導にあたっては、虫を飼育する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとするようにすることができるようにする。そこでまず、課題設定では、1年生に育てた虫のことで教えたこと、どんなことが考えられるかの話し合いをさせたい。次にステージ1では、生きものを育てるために必要なことをまず話し合い、一番大事なすみかについて図書の本や生活科の本を使って調べ、すみかを準備して虫を校庭に探しに行き、長期の飼育ができるようにさせたい。さらに、ステージ2では、長期飼育の中で、発見したことや気付いたことや本で調べた知識を、1年生に発信する方法をチームで話し合わせ、作成させる。最後に、発信の練習をした上で、1年生に発信し、振り返りをして、今後、自然とのつながりや生命の尊さ、これから自然を大切にする児童へと成長していくようにする。本時指導にあたっては、1年生に「教えよう、生きもののこと」を発表する前にチームごとにクラスで発表し、よりよい内容になるように話し合わせ、1年生に発表する活動につなげさせたい。そのために、まず、「つかむ」段階では、今までに練習してきた事を想起させ、本時のめあてをつかませる。次に、「話し合う・関わる」段階では、虫の育てたチームごとに発表し、よかった点や改善点を話し合い、クラス全体で交流させる。その後、チームでもう一度自分たちの伝えたいことを見直す活動をすることでよりよいものにする。さらに、「まとめる」段階では、本時の学習を振り返り、1年生に発表するときどんなことを頑張るとよいかチームで確認することで次の活動意欲へとつなげさせたい。

3 教材について

身近にいる生き物を題材にして、自分たちで生き物を探したり、育てたりする活動を行っていく中で、①生き物を捕まえるために、探す場所や捕まえ方を考えさせることができる。②捕まえた生き物を育てる時に、その生き物が住んでいるところを参考にしてすみかを作ることができる。③どのようにすれば生き物を上手に育てられか調べたり工夫したり、他のチームと比べたりすることができる。④飼育を通して、それらが生命を持っていることや成長している事に気付き、発見や驚き・感動を実感したり、生き物を大切にすることを身につけることができる。などのよさが考えられる教材である。

4 単元の目標

目指す姿	SDGsの視点
生き物を育てることで、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができる。	 

目標	ESDで身に付けさせたい能力・態度
○生き物を捕まえるために、探す場所や捕まえ方を考えさせたり、どのようにすれば生き物を上手に育てられか調べたり工夫したりすることを通して、生き物は生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。 (知識及び技能)	【④多面的、総合的に考える力】
○生き物の飼育を通して、それらが生命を持っていることや成長している事に気付き、発見や驚き・感動を実感したり、生き物を大切にすることを分かりやすくまとめて1年生に発信することができる。 (思考力、判断力、表現力等)	【①課題を見いだす力】 【④多面的、総合的に考える力】 【⑤コミュニケーションを行う力】
○生き物を育てることで、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。 (学びに向かう力、人間性等)	【②批判的に考える力】 【⑦つながりを尊重する態度】 【⑤他者と協力する態度】 【⑧進んで参加する態度】

5 主眼

○ 他のチームの発表を聞いて自分たちの発表内容が、すみかやえさ、虫の特徴など観点ごとにおいて1年生に教えたことを発表できているか内容や発表の仕方の改善点に気付くことができる。

【内容面から】

○ 育てた経験や調べたことを1年生に伝えるために、話し方が上手くいったか、他のチームの発表を聞いて、自分たちの発表に改善することはないかなどを全体で出しあったり、チームで話し合ったりすることができる。

【ESDで身につけたい能力・態度から】

7 展開

過程	学習内容	指導上の留意点・評価規準
つ か む	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>○どんな虫を飼ってきたか、どんなことを発表するかの内容を確認する。</p> <p>○発表のポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり ・大きな声で ・私は、～を説明します。 	<p>○どんな内容（えさ・すみか・雄と雌の見分け方・その他）とゆっくり、大きな声で、何を伝えるかの発表の練習をしてきたときのポイントを確認させる。</p>
<p>1年生に上手に伝えられるようにみんなで教え合おう。</p>		
／ 話 し 合 う ・ 関 わ る	<p>2 各チームの発表を聞き、もっと工夫するところやいいところの発表をする。</p> <p>○チームごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■カマキリチーム ■ありチーム ■ダンゴムシチーム ■カナヘビチーム ■コオロギチームの中から4チームの発表を聞く。 ・餌は、～です。 ・すみかは、～です。 ・雄と雌の見分け方は、～です。 <p>○他のチームの発表を聞いて、チームで発表の仕方を見直し、改善点を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し、ゆっくり言った方がいいよ。 ・前を向いて行った方がいいよ。 ・もう少し大きい声で言った方がいいよ。 ・司会があった方が分かりやすいから、私たちも、まねをしたい。 	<p>○8チームの中から、4チームの内容について話し合いをさせる。</p> <p>○発表の内容をえさ・すみか・おす、めす、その他の観点で確認し、板書にまとめる。</p> <p>○発表した内容をクラス全体で確認し、よかった点、改善点をメモさせ、1年生に教える内容がよりよくなるようにクラス全体で話し合いをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各チームの発表を聞いて、発表の内容が1年生に伝わるか、話し方はどうか、などクラス全体でよかった点を話し合うことができる。 自分たちのチームで、内容を見直しよりよい内容に変更することができる。 【多面的、総合的に考える力】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各チームの発表を聞いて、発表の内容が1年生に伝わるか、話し方はどうか、などクラス全体で改善点を話し合うことができる。 【批判的に考える力】</p> </div>
／ ま と め る	<p>3 本時の学習をふり振り返り、1年生に教えた生き物の発表の意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これで自信をもって、1年生の前で発表できそう。 ・もう少し、練習しないと心配なので、休み時間にも練習したい。 	<p>○本時活動を振り返り、1年生での前で頑張ることや改善点をノートに書かせる。</p>
<p>○○○をがんばれば、1年生の前でののはっぴょうがうまくいきそうだ。</p>		

9 単元計画（全14時間＋休み時間）

段階	配時	主な学習活動	ESDで身に付けさせたい能力・態度	主な手立て
課題設定	1	<p>1年生に虫のことを教えるためにできることを話し合い、課題をつかもう。</p> <p>(1) 1年生の時に虫を捕まえ困ったことを思い出し、どんなことを1年生に伝えるとよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えさは何をあげたらいいか。 ・どんなすみかにするとよいか。 ・おすと、雌の見分け方はどうしたらよいか。 ・卵を産むときは、どうするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験をもとにイメージを膨らませ、学習課題を見出す。 <p>【課題を見いだす力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間等に虫を捕まえて遊ばせておく。 ・虫のことで知っていることについて思い出させる。
	①	<p>生き物を育てて、1年生に虫のことを教える「教えよう 生きもののこと」を開こう。</p>		
ステージ1	4	<p>「教えよう、生きもののこと」の計画を立てよう。</p> <p>(1) 「教えよう、生きもののこと」の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館にある本を使って、虫のことを調べてみたい。 ・校庭に虫をつかまえに行きたい。 ・公園でも捕まえたいな。 ・すみかを作って、育てないな。 ・育てて分かった事を1年生に教えたいな。 <p>(2) 図書の本で調べたことを基にすみかを作ろう。</p> <p>○図書室の本や生活科の本を使って、虫のすみかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの本を読むと分かるかな。 ・生活科の本にも書いてあるよ。 <p>○育てたい虫チームに分かれよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫を触るのが苦手だから、ありがたいな。 ・カマキリがかっこいいから、カマキリを育てないな。 <p>○調べたことを基にすみかを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土は、どれくらい入れるといいかな。 ・虫が、かくれるところを作ったがいいかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に虫のことを教える計画を立てる。 <p>【未来像を予測して計画を立てる力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫のことを書いてある本で、すみかのことや餌のことを調べ、よりよいすみかの作り方を考える。 <p>【多面的、総合的に考える力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で生きている虫がどこにどこにいるか予想を立てながら虫取りをすることができる。 <p>【つながりを尊重する態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本で調べたことを基に、チームで協力してすみかを作ることができる。 <p>【他者と協力する態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室から虫に関する本を借り、いつでも見れるようにしておく。 ・一人ひとりが、読み物を使って調べられるようにコピーして読めるようにしておく。 ・虫かごを3、4人のチームに1個準備をする。
	②	<p>(3) 育てたい虫チームに分かれて虫を捕まえるにいきよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芋畑の方に行くと、バッタがたくさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達協力して虫を捕まえることができる。 <p>【他者と協力する態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこへ行くと虫がいるか考え、虫取りに行かせ
	①			

	<p>いるよ。 ・ダンゴムシは、石の下とかにいるよね。</p>		る。
	<p>教室で、虫を自分たちの力で育てていこう。</p>		
ステージ2	<p>3 育てたい虫チームに分かれて、虫を育ててみよう。</p> <p>② (1)それぞれのチームで虫かごを用意し、すみかを作って実際に飼育をしよう。 ○自分達で取り組みたいことを出し合い、実践する。 ・だんだん弱ってきたので、餌が足りないのかな。 ・捕まえたところのように、湿り気があるな。 ・掃除をしないと、虫かごの中がくさくなるね。 ・どうしたら卵産んでくれるかな。 ・共食いをしないようにするには、生きた餌がいるんだ。</p> <p>① (2)困ったことを書いて、みんなに知らせ、教え合いをしよう。 ○目的を達成するために、友達と協力して計画を立て、友達とアイデアを出し合いながら、実践を行う。 ・カマキリを見つける場所を教えてもらいたいな。 ・育てた虫がなくなってしまった原因を知りたいな。</p>	<p>・それぞれの虫にあったすみかを捕まえてきた環境と同じように作り替えることができる。 【多面的, 総合的に考える力】 ・友達と話し合いながらすみかを作ることができる。 【コミュニケーションを行う力】 ・積極的に虫に関わり、進んで世話をすることができる。 【進んで参加する態度】</p> <p>・困ったことをみんなに知らせ、教え合いをすることができる。 【他者と協力する態度】</p>	<p>・命を預かっていることを常に意識させる。 ・餌と水分を心がけさせる。 ・長期飼育ができるように声かけをする。</p> <p>・飼育を続ける中で困ったことについてクラスで交流し合うことができる。</p>
	<p>虫を育てたり、調べたりしたことを1年生に教えよう。</p>		
行動・発信・振り返り	<p>7 1年生に教えたいことをチームで話し合い、発信しよう。</p> <p>② (1)チームで発信したいことを話し合い、発信方法を決める。 ○自分達も地域の一員として地域づくりに貢献できたことを実感させ、これからの活動について意欲を高める。 ・新聞でまとめたいな。 ・絵を描いて、本にしてまとめたいな。 ・タブレットで写真やビデオでも伝えたいな。</p> <p>③ (2)「教えよう 生きもののこと」の発表の練習をし、修正をしよう。 ・もう少し、ゆっくり言った方がいいよ。</p>	<p>・虫を育てて分かった事や調べて分かったことを1年生に発信する方法を話し合うことができる。 【多面的, 総合的に考える力】 【コミュニケーションを行う力】 【他者と協力する態度】 【進んで参加する態度】</p> <p>・よりよい発信の内容や方法をクラス全体で見直し改善</p>	<p>・「どの方法で」「何を使って」発信する方法が適切か考えさせる。 ・タブレットを使って、実際に餌を食べている様子をビデオで撮ることのよさなど知らせておく。</p> <p>・ICT等を活用して交流する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・一番伝えたいことが何か分かる方がいいよ。 ・ビデオを止めて伝えた方が分かりやすいと思うよ。 ・司会があった方が分かりやすいから、私たちも、まねをしたい。 <p>② (3)「教えよう 生きもののこと」の発表をし、学習の振り返りをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生が興味を持って聞いてくれてよかった。 ・命を育てることは、責任がある。 ・虫が苦手だったけど、触れるようになった。 	<p>することができる。</p> <p>【批判的に考える力】</p> <p>【コミュニケーションを行う力】</p> <p>【他者と協力する態度】</p> <p>【多面的、総合的に考える力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分の成長を実感すると共に、虫の命の尊さも実感させる。 <p>【つながりを尊重する態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物を飼育する上で、生きたバッタが餌になる食物連鎖・卵を産んで次の命を宿る事につながりにも気付かせたい。
<p>これからも生き物の命を大切にしていこう。</p>			